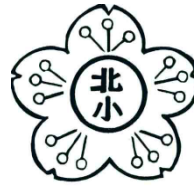


北小物語2018



平成30年12月 6日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (68)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いい顔』『いい声』『いい心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第68話：「BLOWSが北小にやってきた！～北っ子の『人権集会』～」の巻 ☆☆☆



「師走12月」・・・日本全国、いや世界全体で「人権」の大切さについて考える中、本校では、あの「BLOWS」さんが来校し、心温まるコンサートを開いてくださいました。「BLOWS（ブローズ）」とは、田平町出身のメンバーらにより構成され、老人施設、障がい者施設、学校などでコンサートを開き、歌を通して「人としての大切さ」を伝えている音楽ユニットです。メンバーの中には障がいを有する方もいらっしゃいますが、一生懸命にドラムを叩く姿を見せてくれました。互いを思いやる素晴らしい仲間である「BLOWS」の皆さんの歌と演奏は、会場を愛と優しさで包み込み、「セトモノ」のように固かった私の心を柔らかいものにしてくれました。子どもたちの心に笑顔と安心を与えてくれました。コンサートの途中には、飛び入り参加のダンスパフォーマンスもあり、志あふれる北っ子が数名ステージへと駆け上がり、「BLOWS」のメンバーと一緒に見事なダンスバトルを披露してくれました。



人権集会ご参観のご案内をいたしましたところ、会場には数名の保護者の方々にもおいでいただきました。12月18日（火）8:15～8:35には、北っ子の特技披露ステージ「K-1グランプリ」が体育館にて開催されます。どうぞ、こちらの方もぜひ、ご参観ください。よろしくお願いたします。

最後に「BLOWS」の皆さんと会場の子もたちで、AKB48の曲「365日の紙飛行機」を熱唱しました。学習発表会でNATT（なかよし、あおぞら、たいよう、たんぼぼ学級）の子もたちが合奏してくれたこの曲に手話を付け、体いっぱい思いを込め、心をひとつにして歌いました。

この歌詞の中に「人生は紙飛行機・・・その距離を競うより、どう飛んだか、どこを飛んだのか、それが一番大切なんだ・・・」というところがあります。「BLOWS」さんと一緒にすてきな時間を過ごした北っ子たちは、歌に込められたこの歌詞の意味も感じ取りながら、友達や仲間、そして家族と一緒にいる「当たり前」のことを「幸せ」に感じたことでしょう。この人権集会を明日につなげていきます。

